

第3学年4組 国語科学習指導案

場所 3年4組教室 指導者 XXXXXXXXXX

- 1 単元(題材) 和語・漢語・外来語(本時1/1)
2 本時の目標

- (1) 和語・漢語・外来語に興味をもち、それぞれの特徴を見つけようとする。(関心・意欲・態度)
(2) 和語・漢語・外来語の性質を理解し、日常の中でどのように使われているか考えることができる。
【多面的、総合的に考える力】

- 3 多面的、総合的に考える力を育てるための手だて

- (1) 身の回りにおいて、和語・漢語・外来語がどのような場面でのどのように使われているのかを考えるために、新聞、広告、歌詞、絵本などを用意し、実物から探す活動を取り入れる。
(2) 友達の意見を参考にして、より深く考えられるように、周りとの話し合いの時間をもつ。

- 4 展開(目標達成の視点—ゴシック体太文字・下線)

段階	生徒の活動	教師の活動
導入 (7)	1 「幸せ」「幸福」「ハッピー」という言葉から受ける印象について発表する。	・「幸せ」(和語)「幸福」(漢語)「ハッピー」(外来語)のそれぞれの言葉の感覚の違いを考え、発表するように指示する。
課題 (3)	2 本時の学習課題を把握する。 <u>和語・漢語・外来語の特徴を理解し、日常生活でどのように使われているのか考えよう</u>	
展開 (33)	3 「上」と「下」の読み方から、音読みと訓読みの違いについて把握する。 4 和語・漢語・外来語・混種語について、その成り立ちや特徴を知る。 <small>和語…漢字の訓読みの語。日本固有の言葉。 漢語…漢字の音読みの語。中国からの借用語。 外来語…外国語から取り入れられ発音や意味 用法が日本語化した言葉。</small> 5 和語・漢語・外来語がどのような場面で使われているか考え、発表する。 (学び合い：全体) ・和語は手紙に多く使われていそう。 ・漢語は政治とか難しいところに多そう。 ・外来語はギャルがよく使っている気がする。	・「上」と「下」の読み方を発表させ、音読みと訓読みについて説明する。 ・和語・漢語・外来語について、成り立ちや特徴を説明し、板書する。 ・それぞれの語種の具体例を提示する。 ・外来語は何語が元なのか、由来クイズを出す。 「和語・漢語・外来語はそれぞれ、どのような場面で使われることが多いですか。」 ・意見が出なければ、周り話し合う時間をとる。 ・具体的な場面例を挙げながら発表できた生徒を称賛する。
整理 (7)	6 グループに分かれ、新聞や雑誌、歌詞などを和語・漢語・外来語に分類する。 (学び合い：グループ) 7 グループごとに、どの語種が多かったかを発表する。(学び合い：全体) 8 和語・漢語・外来語がどのようなときに使われているのかをまとめる。 9 本時の感想をノートに書く。 ・自分も、時と場合によって、和語・漢語・外来語を使い分けて、表現力を高めたい。	

- 5 評価

- (1) 和語・漢語・外来語に興味をもち、特徴を理解しようとしたか。(活動6の作業から)
(2) 和語・漢語・外来語を適切に使分けようという思いをもてたか。(活動9の感想から)